



**SJ選定**  
**新製品**  
を視る聴く

CDプレイヤー／プリメイン・アンプ

# HEGEL CDP2A/H200

¥315,000 / ¥525,000 (税込)

## HEGELのサウンドには不思議な魅力がある。温かく穏やかな空間から演奏のエネルギーが伝わってくる ●石田善之

かの偉大な哲学者の名前に由来する社名を持つHEGELは、ドイツではなく実はノルウェーのブランドである。創立者のベント・ホルターは音響機器の開発プロセスを「弁証法的思考の上にあるべき」とし、「生の音楽の音響だけが唯一のリファレンスである」という想いがブランド名の由来のようである。

家庭内で再現される音楽はレコーディングスタジオで録音されたそのものであり、加えられることも欠けることもあってはならない、という信念のもとに作られたHEGEL製品は、ECMレーベルでお馴染み、オスロのレインボースタジオのリファレンスシステムとして使われているという。

### 予算も考慮し、多くのジャズ・ファンにお薦めしたいコンボ組合せ

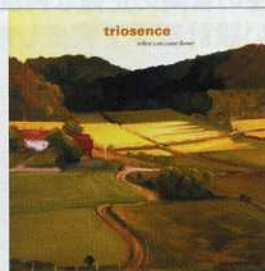
現在日本で発売されている製品は、CDプレイヤー、プリメイン・アンプ、セパレートのプリとパワー、それぞれ2モデルずつで、いずれもいかにもスカンジナビア的な美しい、アルミを基調とした白い仕上げである。特にムクのアルミニウムの表面にショットブラストを施して硬度を高めたフロントパネルは同社がHEGEL曲線と呼ぶ緩やかなカーブを持ち、いずれも左右対称のデザインでまとめられている。共通リモコンはずっしりと手ごたえのある17mm厚ソリッドアルミニウムから切削加工され、12個のボタンで操作する。

全8モデルの中から本誌がジャズ・オーディオファンに選定したのは、CDプレイヤーがCDP2Aで、デザインや使い勝手、電源部やDACを含めて上級機CDP4Aと多くの共通部分を持ち十分なクオリティが得られる。

#### 試聴作品

オスロのレインボースタジオで録音されたピアノ・トリオ作品

▶【CD】ホエン・ユー・カム・ホーム / トリオセンス (バウンディ:B.J.L. DDCJ-7001)



グラミー賞(最優秀アルバム賞)受賞! おめでとうございます!

◀【CD】リバー〜ジョニ・ミッチェルへのオマージュ / ハービー・ハンコック(ユニバーサル クラシックス & ジャズ:Verve UCCV-1100)

## HEGEL CDP2A/H200を聴く

アンプは8Ωで200W+200Wを意味するH200,同社のセパレートアンプの技術を見事に一体化している。

CDP2Aは写真からもわかるとおり,操作ボタンはたった2個,左のボタンはパワーオン/オフとトラック送り/戻し,右側はオープン/クローズとプレイ/ストップである。上方,右下,左下の3方向が明瞭に操作でき,わかりやすい。それ以外の特徴は,DACは24ビット対応で,サンプリングは192kHzにアップして対応でき,スーパークロックでジッターレベルを低く押さえ込もうというものである。

H200の重量は25kg,電源部もデュアルモノで内部コンストラクションも左右対称型,出力のスピーカー端子はリアパネルの左右両端にバイワイヤリング対応で持つ。同社のプリアンプP2Aのデジタルコントロールデバイスをそのまま搭載することで入力セレクターのリレー動作やボリュームの電子化が行われ,ディスプレイは入力やボリュームの数値をブルーで表現する。入力はXLRが1系統,RCAはCD,AUXなど3系統,そして本機の新機能として,外部サラウンドシステムと共に使用するためホームシアター入力を装備している。パネルには中央のパワースイッチと,左右対称で入力セレクターとボリュームの2個のツマミがある。

### 厳冬のオスロで収録されたピアノ・トリオを,なんとも温かなサウンドで描き出す

サウンドは全体に柔らかな方向を聴かせる。かといって輪郭の甘さや曖昧さにつながるものではない暖色傾向で,特にボーカルには人の持つ体温まで感じさせる。高域はカッチリとしてある種の主張を感じさせるも



のがあるが,決してどぎつさにつながるものではなく,明解ななかに響きの美しさを十分に聴かせる。

試聴盤の1枚目はレインボースタジオで収録された「ホエン・ユー・カム・ホーム/トリオセンス」。厳冬のオスロでの録音だが,HEGELのなんとも温かさに満ちたサウンドは,このピアノ・トリオそのものの持ち味を見事に引き出している。タプリと膨らみ加減のベースやピアノは透明度が高いなかに音の芯を感じさせ,シンバルやスネアは切れ味良く美しい残響感を伴い,空間的な表情が実に美しい。

2枚目はグラミー賞受賞のハービー・ハンコックの最新作「リバー」で,「ジョニ・ミッチェルへのオマージュ」というサブタイトルがつけられ,5人のボーカリストの熱唱ぶりが十分に伝えられている。HEGELの再生はアコースティック感に溢れ,特にウエイン・ショーターのソプラノもテナーも十分に広い空間を感じさせ,それでいて演奏のエネル

### 開発コンセプト

### 生の音楽の正確な再現のために,まったく新しい設計哲学で完成した最高水準の音響機器

北欧ノルウェーからNatural Sound,Hegel Music Systemをご紹介します。HEGEL社(Norway,Oslo)はミュージックラバーでありミュージッククリエイターであるベント・ホルター(Bent Holter)によって音響機器の開発プロセスは弁証法的思考の上にあるべきと考え,正確な音再現のためにまったく新しい設計哲学を展開すべく1997年に設立されました。HEGELにとってすべての開発プロセスを通じて,生の音楽の音響だけが唯一のリファレンスです。社名は,弁証法を提唱したドイツの哲学者,G.W.F.Hegelに由来します。開発スタッフは様々な分野の最新技術をマスターしたエキスパートたちで構成され,その成果としていくつかの特許を取得しています。最高水準の音響機器を作り出すには,前向きなアプローチ,最高の技術,熱心な研究者,十分な音楽的環境と音楽への理解を統合することによって可



●現在の製品ラインナップは,CDプレイヤー2機種,プリアンプ2機種,パワーアンプ2機種,計8モデル。求めるグレードによって様々な選択が可能だ。CDP4A(¥525,000,上写真)はここで紹介しているCDP2Aの上級機で,24bit/352kHzという同期アップサンプリング付き高性能DACを搭載している。H1(¥315,000,下写真)はH200の弟機的位置づけで,出力120W+120W(8Ω)のスリムなスタイルのプリアンプだ。最上級パワーアンプのH4A(¥945,000)は,重量45kg,出力300W×2(8Ω)の巨大な製品,ジャズの説得力も強烈だ。

